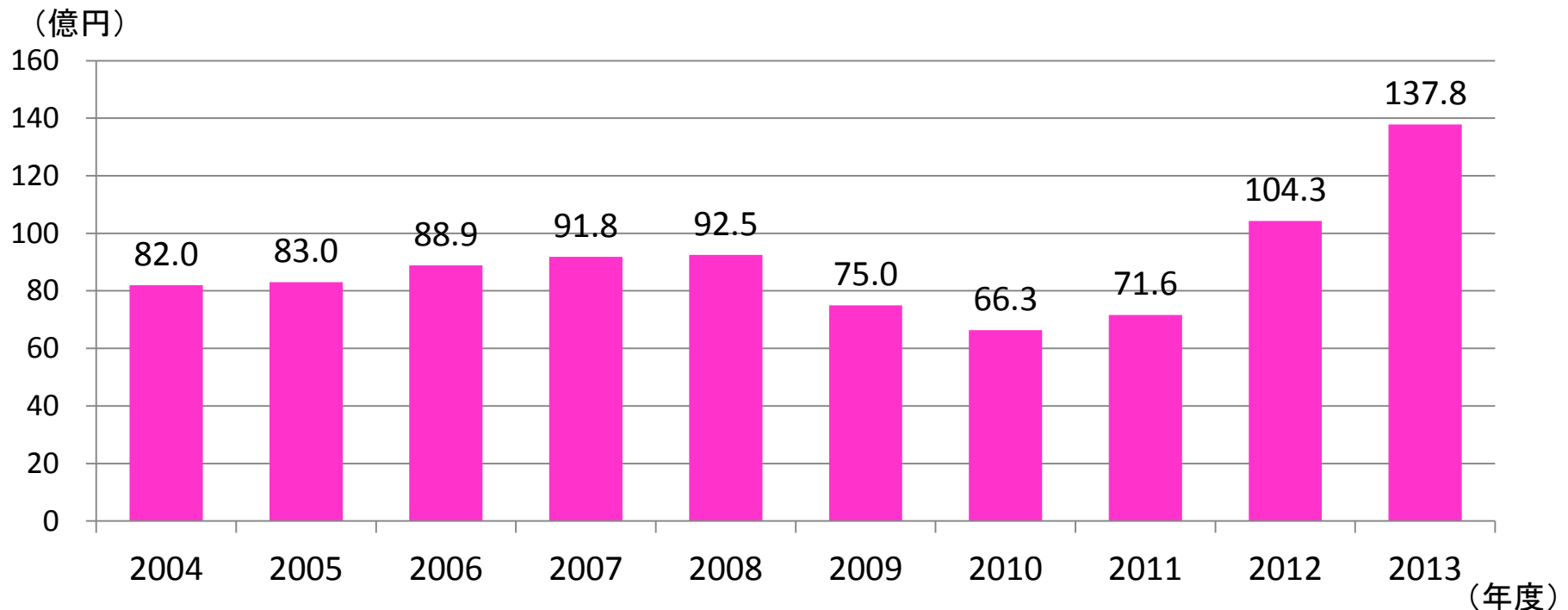


放送コンテンツの海外展開に関する現状分析 (2013年度)

平成26年11月
総務省情報通信政策研究所

日本の放送コンテンツの海外輸出額

2013年度の日本の放送コンテンツ海外輸出額は約138億円。なお、2010年度から、番組放送権に加え、商品化権、ビデオ・DVD化権、フォーマット・リメイク権、インターネット配信権なども対象にして、放送コンテンツ海外輸出額の調査を実施している。



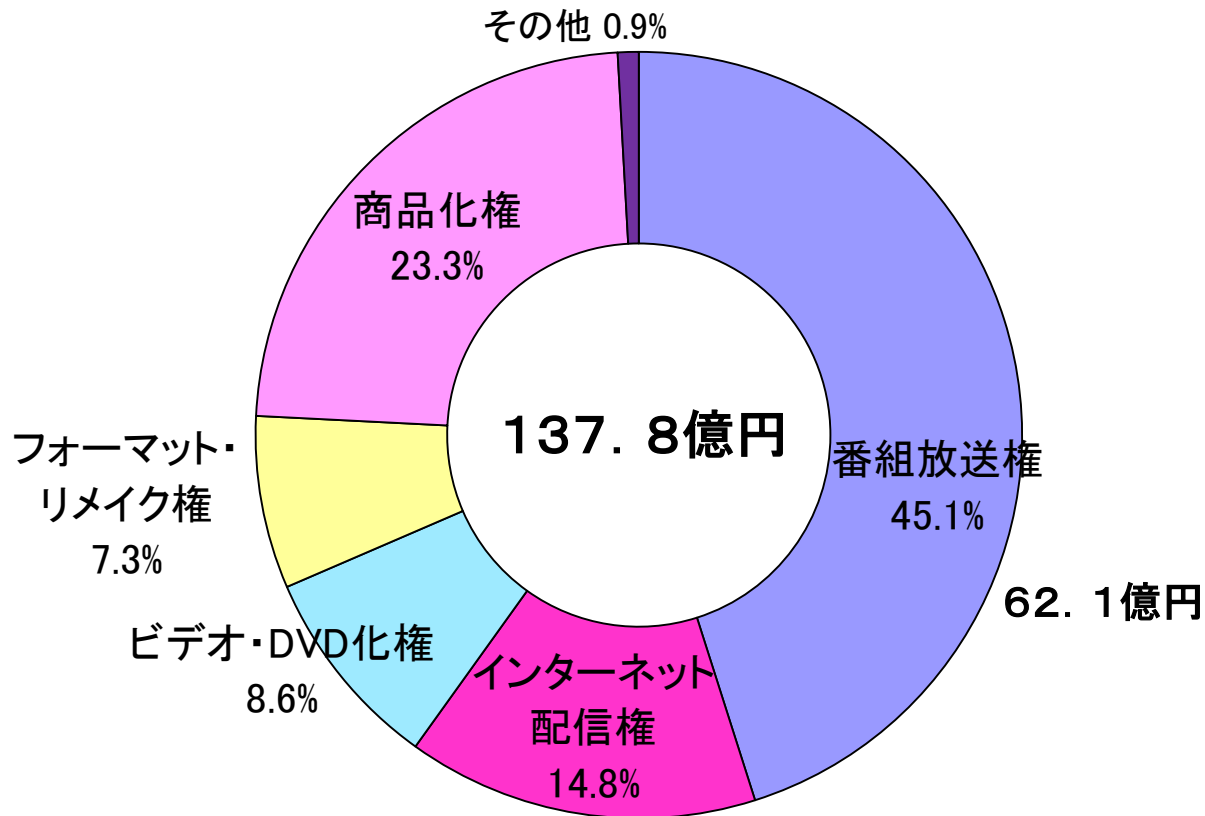
注1: 放送コンテンツ海外輸出額: 番組放送権、インターネット配信権、ビデオ・DVD化権、フォーマット・リメイク権、商品化権等の輸出額。

注2: 2004年度から2009年度までは、番組放送権のみの輸出額。2010年度以降は番組放送権以外の輸出額を含む放送コンテンツ海外輸出額。なお、2010年度及び2011年度については番組放送権以外の輸出額について再調査を実施。

注3: NHK、民放キー局、準キー局、ローカル局、衛星放送事業者、プロダクション等へのアンケートにより算出。

放送コンテンツ海外輸出額の構成比率（2013年度）

放送コンテンツの海外展開は、番組放送権の販売が伝統的な方法であった。しかし、フォーマットやリメイク権による海外展開が定着しつつあるほか、キャラクター販売のための商品化権、インターネット配信権が放送コンテンツ海外輸出額を増加させている。



注1: 商品化権、ビデオ・DVD化権には、キャラクターなどの商品の売上、ビデオ・DVDの売上は含まない。

注2: 各項目のパーセンテージは、2013年度の放送コンテンツ海外輸出額に占める割合。

注3: 各項目に明確に区分できない場合には、番組放送権に分類。また、放送コンテンツ海外輸出額の内訳を未回答の者については、番組放送権に分類。

・番組放送権(45.1%)

→番組放送権の販売による番組の「完成パッケージ(完パケ)」の販売は、海外展開の伝統的な方法であり、翻訳(字幕や吹き替え)などにより販売先の国に対応(ローカライズ)させて海外で放送。

・インターネット配信権(14.8%)

→海外の動画配信サイトが、放送番組を現地の国に対応(ローカライズ)させてネット配信する権利。

・ビデオ・DVD化権(8.6%)

→放送番組をビデオ・DVD化して海外で販売する権利。

・フォーマット・リメイク権(7.3%)

→バラエティ番組などのコンセプトや制作手法をフォーマットとして海外へ販売、またはドラマなどの舞台設定や登場人物などの構成要素を取り出してリメイク権として販売し、それに基づいて海外の放送局・制作会社が現地出演者やスタッフを活用して番組を制作・放送。

・商品化権(23.3%)

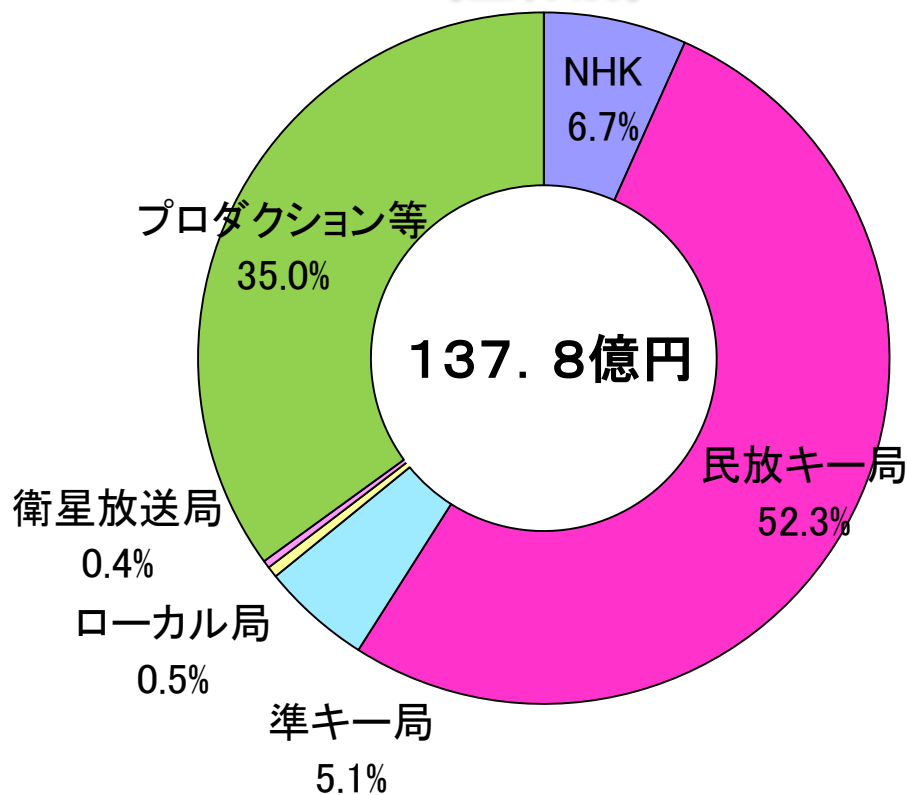
→例:アニメなどの放送番組のキャラクターを商品化して海外で販売する権利。

・その他(0.9%)

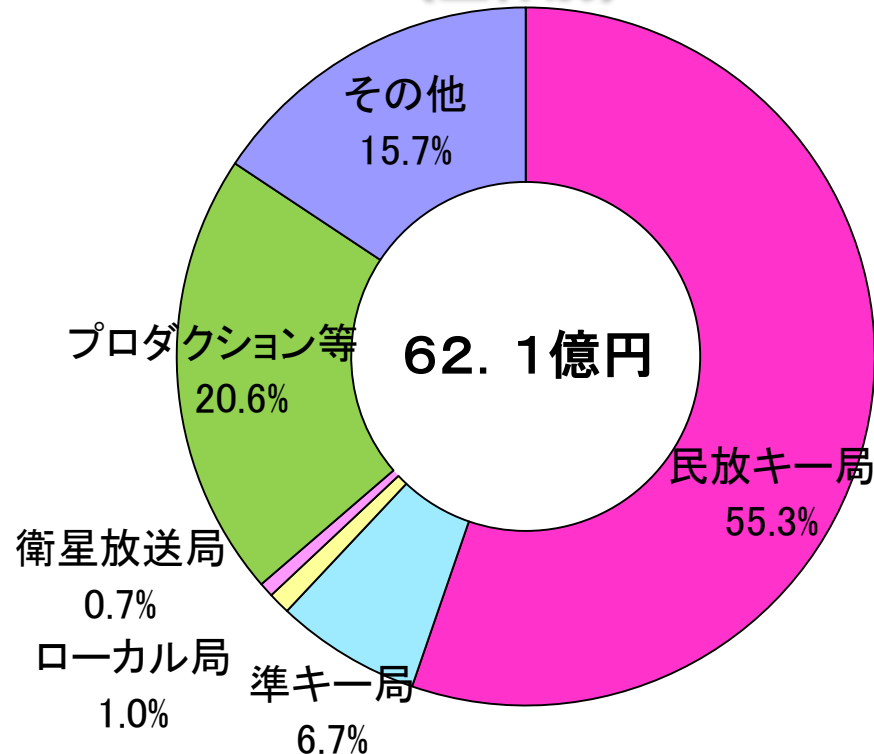
→例:放送番組の一部を海外の番組の中で番組素材(フッター)として活用する権利。

放送コンテンツ海外輸出額を主体別にみると、NHK及び民放キー局で約6割を占める。また、民放キー局は、放送コンテンツ海外輸出額と番組放送権の輸出額の割合はほぼ同じであるが、プロダクション等では、商品化権、ビデオ・DVD化権、インターネット配信権を含めた放送コンテンツ海外輸出額の割合が大きくなっている。

放送コンテンツ海外輸出額 （主体別）



番組放送権の輸出額 （主体別）



注：その他は、放送コンテンツ海外輸出額の内訳を未回答の者。

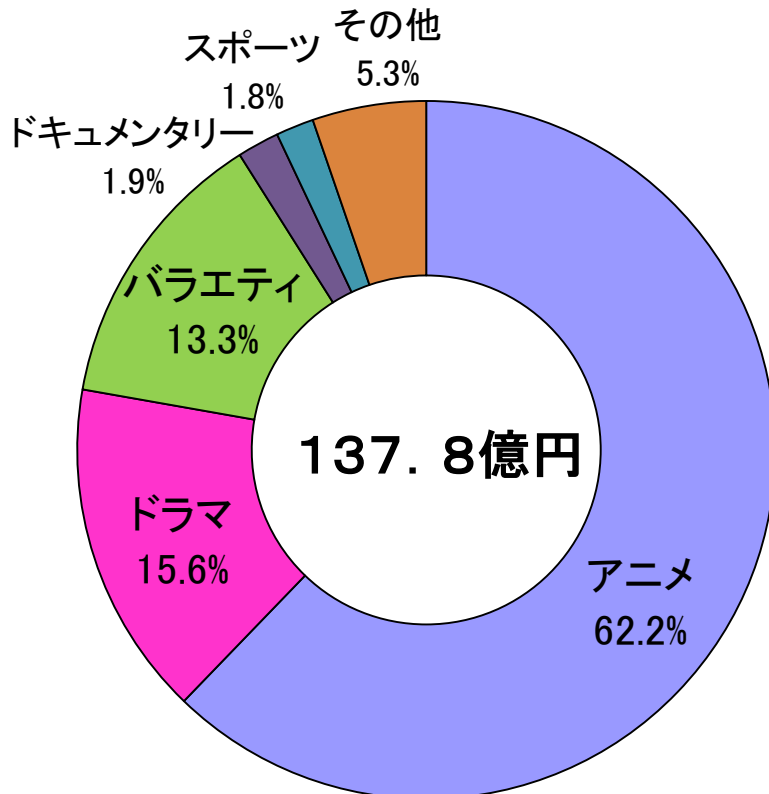
ジャンル	番組タイトル
アニメ	宇宙兄弟 科学忍者隊ガッチャマン 機動警察パトレイバー 鉄腕アトム ドラえもん HUNTER×HUNTER ラブライブ！ ワンピース
ドラマ	あまちゃん 海賊戦隊ゴーカイジャー ガリレオ GTO 半沢直樹

ジャンル	番組タイトル
バラエティ	SASUKE 大改造!!劇的ビフォーアフター ¥マネーの虎 料理の鉄人
ドキュメン タリー	ガイアの夜明け ワイルドライフ
スポーツ	ダンロップフェニックストーナメン ト 三菱ダイヤモンドカップゴルフ 2013
紀行番組等	Casual traveling(注) 東京TOWNS

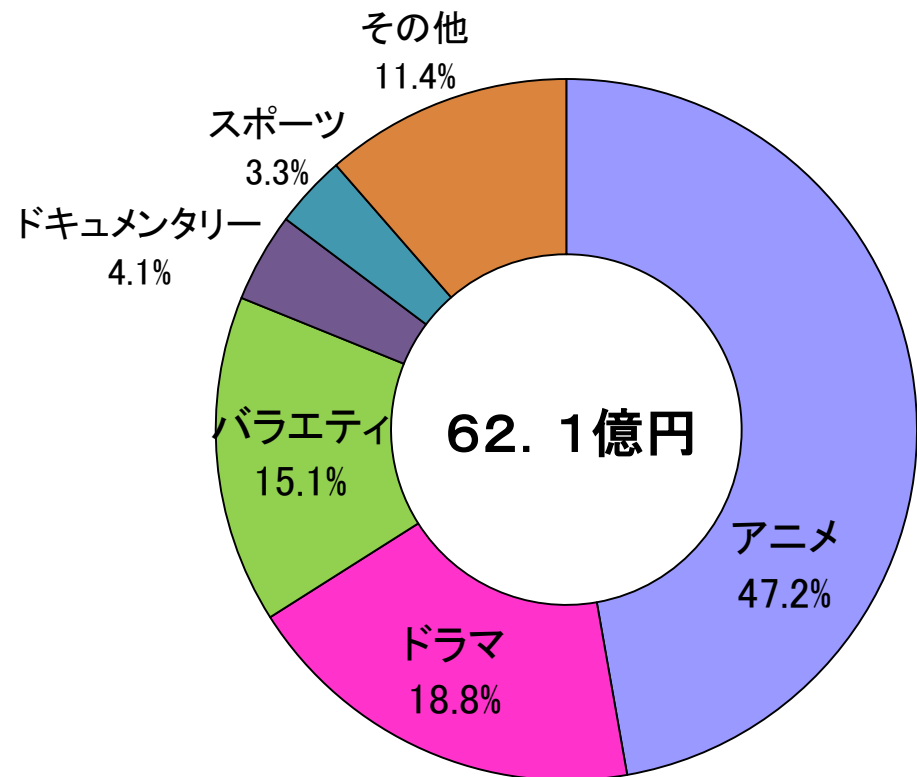
注:「どさんこワイド179」をもとに海外販売用に製作。

放送コンテンツ海外輸出額のジャンル別では、アニメが6割を占め、次いでドラマ、バラエティが多く、ドキュメンタリー、スポーツがそれに続いており、日本の放送コンテンツの海外展開は、アニメを中心に多彩なジャンルで構成されている。

放送コンテンツ海外輸出額 （ジャンル別）

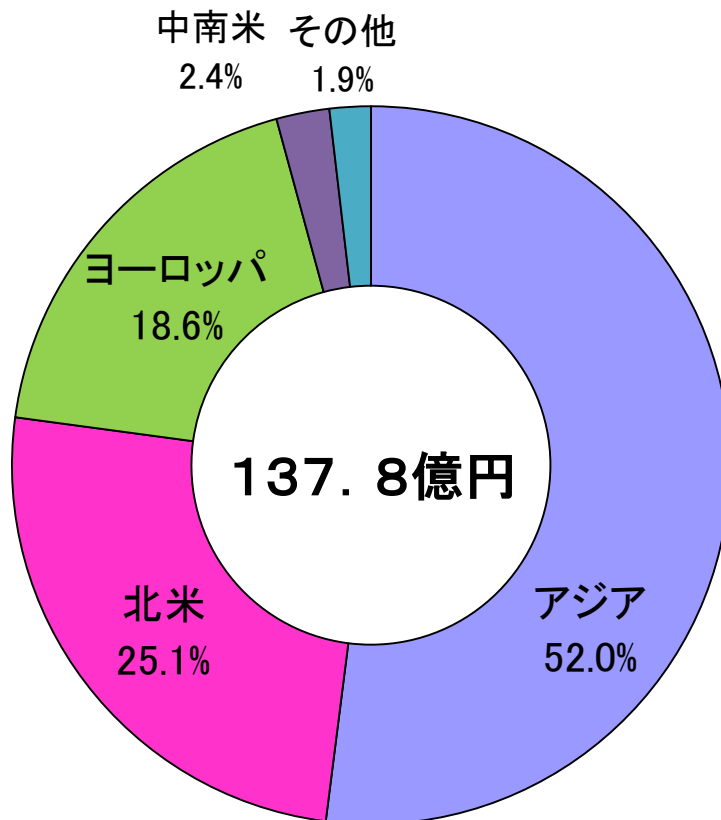


番組放送権の輸出額 （ジャンル別）

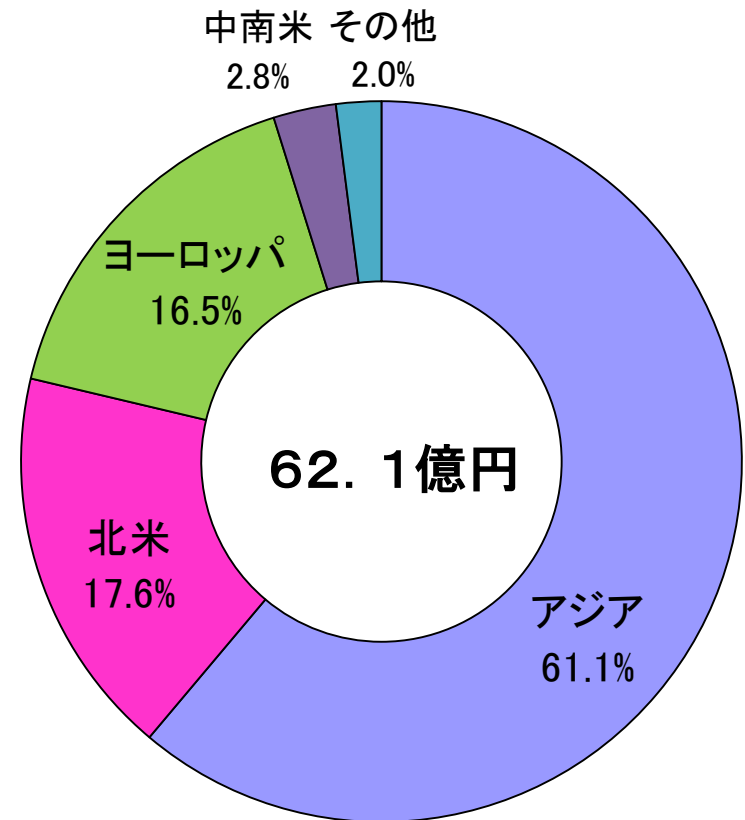


放送コンテンツの輸出先は、アジアが約5割を占め、次いで北米、ヨーロッパが多く、中南米、そのほかがそれに続いており、日本の放送コンテンツの海外展開は、アジアを中心に多様な輸出先を確保している。

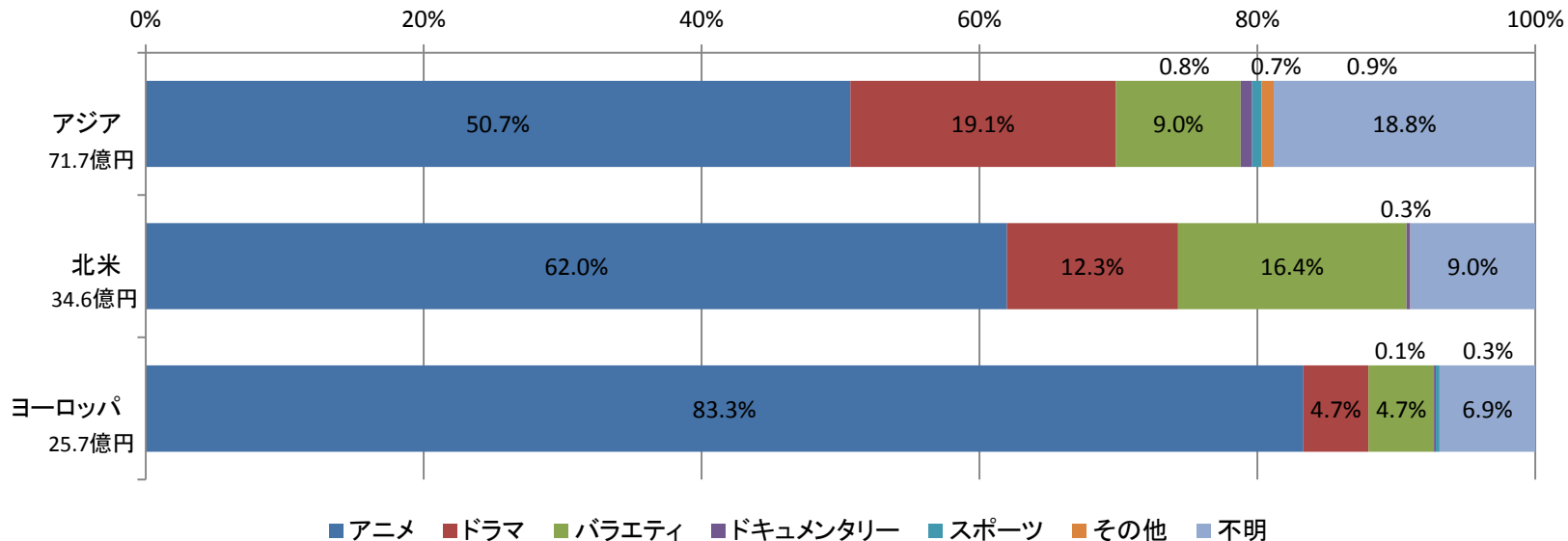
放送コンテンツ海外輸出額 （輸出先別）



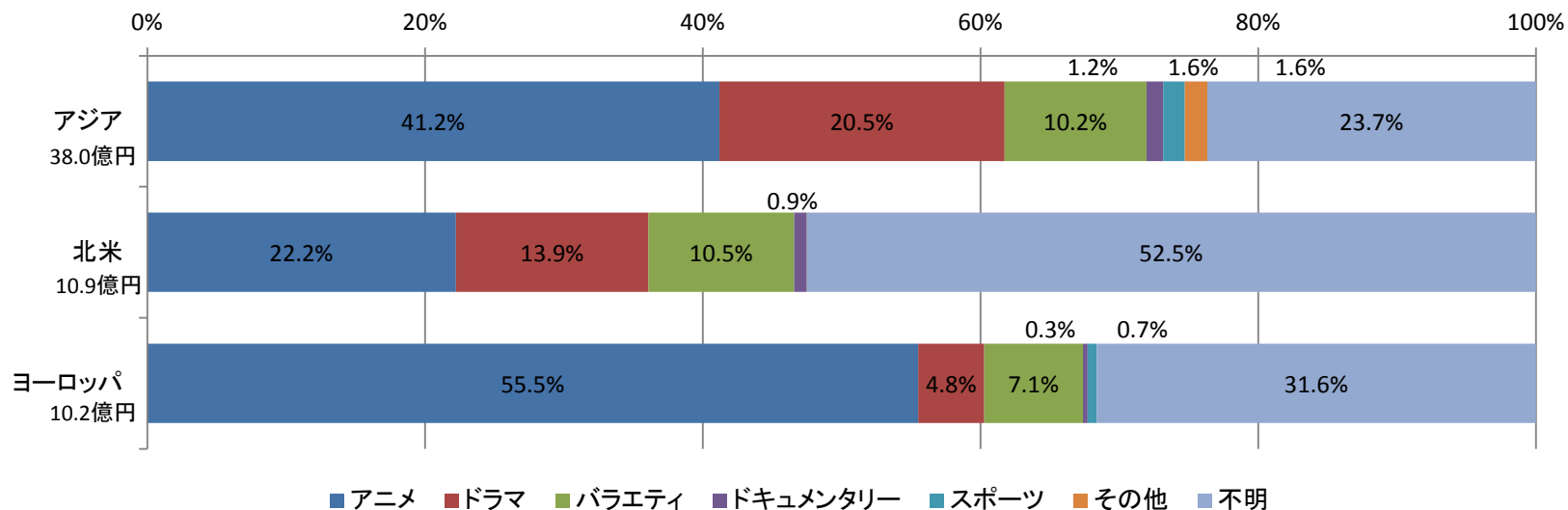
番組放送権の輸出額 （輸出先別）



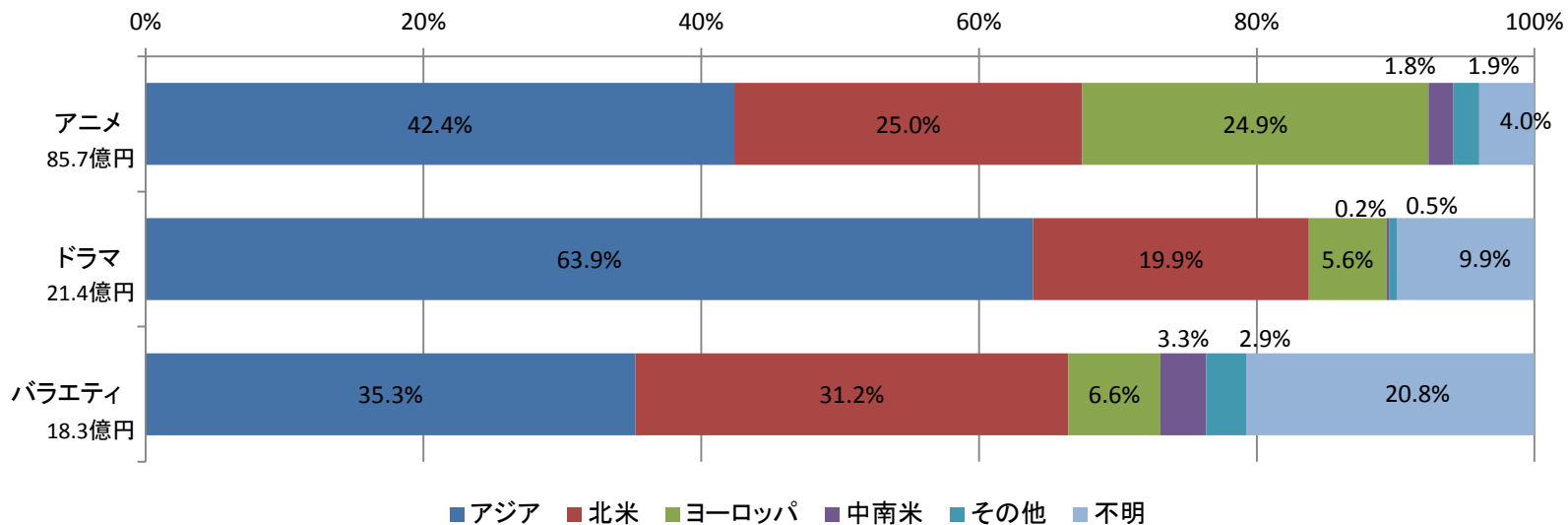
放送コンテンツ海外輸出額



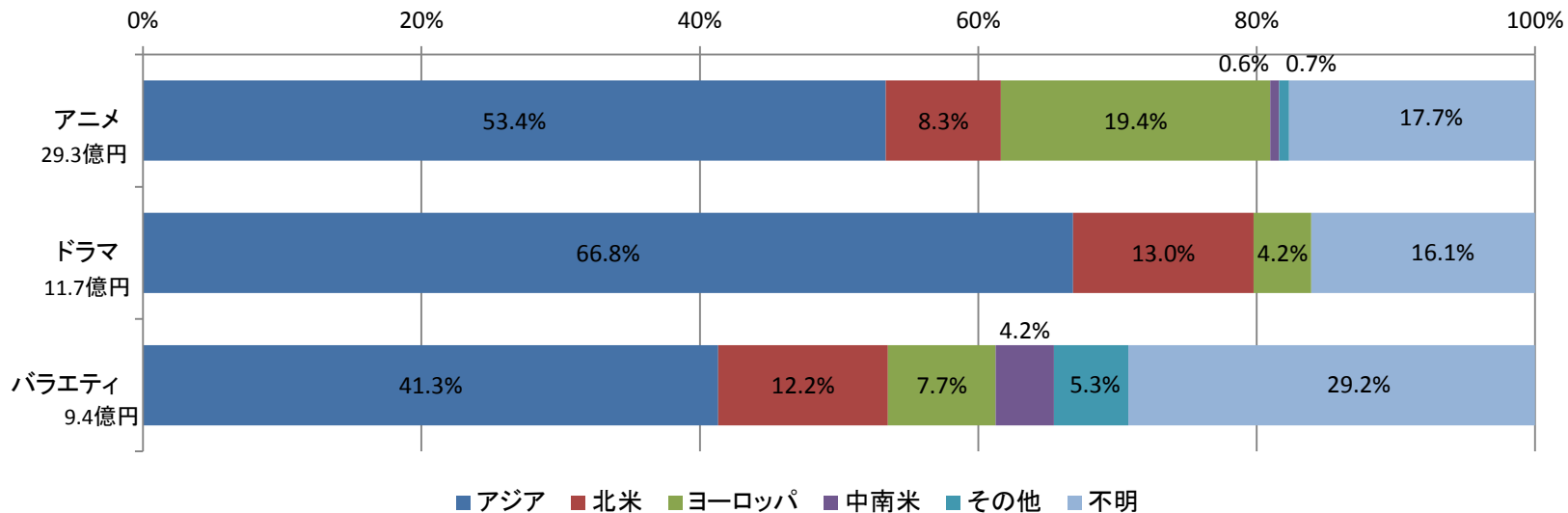
番組放送権の輸出額



放送コンテンツ海外輸出額



番組放送権の輸出額



調査方法と調査期間

調査項目	・2013年度における放送コンテンツ海外輸出額 （2013年度に収入のあった額）
調査方法	・郵送、電子メールでのアンケート配布・回収 ・訪問インタビュー調査
調査期間	・平成26年9月3日～平成26年11月14日

対象メディアと回答者数

メディア別	回答者数
地上基幹放送事業者 （テレビジョン放送事業者、NHKを含む）	100
衛星系放送事業者	72
プロダクション等	7
合計	179

注1:地上基幹放送事業者は、NHK、民放キー局、準キー局、ローカル局のテレビジョン放送事業者全社を対象。

注2:衛星系放送事業者は、衛星放送協会の正会員社のうち地上基幹放送事業者関連の社を除いた社等対象。

注3:プロダクション等は、日本動画協会加盟社のうち海外展開を行う部門を有することが確認できる社等を対象。

主体別の海外輸出額 (百万円)

2013年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組放送権の輸出額
NHK	922	—
民放キー局	7,209	3,434
準キー局	706	417
ローカル局	71	63
衛星放送局	49	42
プロダクション	4,822	1,282
その他	—	974
計	13,779	6,211

ジャンル別の海外輸出額 (百万円)

2013年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組放送権の輸出額
アニメ	8,573	2,933
ドラマ	2,144	1,167
バラエティ	1,826	939
ドキュメンタリー	268	256
スポーツ	242	208
その他	726	708
計	13,779	6,211

輸出先別の海外輸出額 (百万円)

2013年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組放送権の輸出額
アジア	7,167	3,797
北米	3,462	1,091
ヨーロッパ	2,566	1,022
中南米	329	175
その他	255	126
計	13,779	6,211

アジア向け輸出額の ジャンル別内訳 (百万円)

2013年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組放送権の輸出額
アニメ	3,634	1,565
ドラマ	1,370	780
バラエティ	644	388
ドキュメンタリー	58	45
スポーツ	49	59
その他	63	62
不明	1,349	899
計	7,167	3,798

北米向け輸出額の ジャンル別内訳 (百万円)

2013年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組放送権の輸出額
アニメ	2,146	243
ドラマ	426	151
バラエティ	569	114
ドキュメンタリー	9	10
スポーツ	0	0
その他	0	0
不明	311	573
計	3,462	1,091

ヨーロッパ向け輸出額の ジャンル別内訳 (百万円)

2013年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組放送権の輸出額
アニメ	2,138	568
ドラマ	120	49
バラエティ	121	73
ドキュメンタリー	3	3
スポーツ	7	7
その他	0	0
不明	177	323
計	2,566	1,023

(資料) 主要ジャンル別輸出先の海外輸出額

アニメの輸出先別内訳 (百万円)

2013年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組放送権の輸出額
アジア	3,634	1,565
北米	2,146	243
ヨーロッパ	2,138	568
中南米	154	18
その他	160	21
不明	341	519
計	8,573	2,934

ドラマの輸出先別内訳 (百万円)

2013年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組放送権の輸出額
アジア	1,370	780
北米	426	151
ヨーロッパ	120	49
中南米	4	0
その他	11	0
不明	213	188
計	2,144	1,167

バラエティの輸出先別 内訳 (百万円)

2013年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組放送権の輸出額
アジア	644	388
北米	569	114
ヨーロッパ	121	73
中南米	60	39
その他	53	50
不明	379	274
計	1,826	939